

令和5年度 飛騨市少年の主張大会

飛騨市少年の主張大会が6月10日(土)、神岡町公民館で開かれ、市内の小中学生が日ごろから考えていることや、心からの思いなどを発表しました。

市内の各小中学校から推薦を受けた15人が出場し、自分のこと、家族のこと、人との関わり合い、身のまわりの中で感じたことなどを少年らしい言葉で堂々と述べました。

なお、中学生の部では、古川中学校3年の川崎友奈さんと向林巧貴さんの2人が飛騨地区選考会に進みました。

地域の伝統行事を通して考えたこと



石原 綾心
(古川中3年)

良い町づくりのためには



大西 結心
(神岡中3年)

続ける先に



沖田 彩宇
(山之村中3年)

私であるための青



川崎 友奈
(古川中3年)

本当の自分



玉腰 千咲子
(古川中3年)

家族との日々



松原 美乃莉
(古川中3年)

言葉の力



向林 巧貴
(古川中3年)

「普通」に添える「理想」



和仁 英太
(神岡中3年)

飛騨市青少年育成市民会議より

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」です

スローガン

「なくそう非行 地域で育む青少年」
「青少年 地域で守ろう 育てよう」

子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。将来を担っていく子供たちの健やかな成長のため、地域で一体となり、青少年の非行防止と健全育成に取り組みましょう。

問 生涯学習課 ☎ 0577-73-7495

大切な仲間



小畑 恵樹
(神岡小6年)

「河合の宝」



竹林 知菜
(河合小6年)

古川祭りの伝統を受けつぐ



中島 樹
(古川小6年)

ブレない心



松尾 耀
(古川小6年)

好きなことを生かそう



丸山 治馬
(宮川小6年)

笑うことでできる笑顔



山口 芽生
(古川西小6年)

幸せなほぐの家



山崎 歩陸
(古川小6年)





飛騨市防災士会の皆さんが市内各地で活動中！

飛騨市防災士会は、平成 31 年 3 月 21 日に発会した飛騨市内の防災組織です。

会員は 213 名(6 月時点)で、市内の小中学校での防災授業や防災講演・講習会・防災シンポジウム等を行っています。また、災害時における市指定避難所開設・運営への協力や市の災害用備蓄品の点検業務、さらに防災アドバイザーとして、地域防災活動の普及や支援にも取り組んでいきます。



市内小中学校での防災授業や地域防災活動では、ゲームなども取り入れながら、災害時のシュミレーションを行い、楽しく学び、防災意識の向上と具体的な行動につながるよう取り組んでいます。



役員のみなさん オレンジのベストが目印です

防災士として一緒に活動しませんか？

防災士を養成する「防災リーダー養成講座」は毎年 2～3 月に開催しています。計 3 日間の受講と普通救命講習の受講で防災士になれます。詳しくは危機管理課(0577-62-8902)までお問い合わせください。



区長・防災士会研修



中学校での授業



小学校での授業



市独自の取り組みとして、災害発生時に避難所を開設・運営する「避難所運営協力防災士」の活動もスタートしました。座学と実習を通して、効率的で効果的な避難所開設運営の手順やコツを学びました。

防災士会が協力し、「共助」の力を高める県内初の取り組みとして、他地域からも注目されています。



みなさんへのお願い

大雨による土砂崩れや洪水等の災害が発生しやすい季節です。

飛騨市防災ハンドブック「飛騨の防災」を参考に、災害時の自分の行動を考えてみましょう！

ハザードマップも確認してください。



市民ライターがまちの話題をお届け!! /
広報ひだまち特派員レポート
(特派員: 水樹 華・林 実香)



6/1 虫歯予防教室が
開かれました



飛騨地区歯科衛生士会による虫歯予防教室「健口(けんこう)教室」が旭保育園で開かれました。虫歯予防のパープサートと立体パズルを全員で観賞し、同会オリジナルの物語の読み聞かせも楽しみました。



6/3 河合小学校で
ふるさと大運動会

4年ぶりに地域の住民を招待し、河合小学校で「ふるさと大運動会」が開催されました。地域の中高生が考えた「ふるさと種目」や、地元楽団ニューコメッツによる生演奏が運動会を盛り上げました。



6/8 飛騨神岡高校で
垣内康介さんが講話



柏木工株式会社に勤めながら山岳レーサーとしても活躍する垣内康介さんを講師に迎え、飛騨神岡高校で社会人講話が行われました。「夢を叶える」をテーマにした講話に生徒121名が耳を傾けました。



6/3 「市民健康講座～和漢薬と健康」が
開催されました

富山大学との連携による健康講座の一環で、和漢医薬学総合研究所の所長で生体防御学領域の教授である早川芳弘氏を講師に招き、「和漢医薬学総合研究所の紹介と和漢薬体験」と題した講座が開かれました。



6/5 クロモジをテーマに
講座を開きました

6月の薬草週間の特別企画は「クロモジ」をテーマに行われました。薬草コンシェルジュの岡本文さんが講師となり、アロマオイルを作ったり、お茶を作って飲み比べたりして楽しみました。



6/11 小学生が「マイクロビット」を使って
電子工作に挑戦しました

ひだ宇宙科学館カミオカラボで、子ども向け科学教室が開かれ、市内の小学生10人がプログラミング教育用の小型コンピューターボード「マイクロビット」を使った電子工作に挑戦しました。



6/13 神岡小3年生児童が「太子踊り」を学習 **特レポ**

神岡小学校の3年生児童がふるさと学習の一環として、神岡町吉田地区に395年前から伝わる伝統行事「太子踊り」について学習し、太子踊保存会の皆さんから実際の踊りを習いました。



6/14 宮川小学校の1、2年生児童が稚アユの放流などを行いました

宮川小学校の1、2年生児童4人が、宮川町桑野地内の宮川河川敷を訪れ、地元の人から宮川のアユの生態や歴史などの話を聞いて学んだり、稚アユの放流などを行いました。



6/15 シニアクラブの皆さんと児童がグラウンドゴルフを楽しみました

宮川小学校の全校児童7人が、地元のシニアクラブの皆さんとグラウンドゴルフを楽しみました。簡単なルールやクラブでの打ち方を学びながら、同校に設営されたコースと一緒にプレーして回りました。



6/17 中高生のための探求スクール「Edo New School」がオープン

地域の中高生が地域の課題や資源を題材に、自分たちがやりたい活動を地域の中で探究する塾「Edo New School」がオープンし、関係者を招いて式典が開かれました。



6/18 海洋プラスチックごみの清掃活動が宮川で行われました

世界規模で問題になっている海洋プラスチックごみを一掃しようと、富山湾に通じる宮川河川敷に流れ着いたレジ袋や農業資材の廃品などを回収するボランティア活動が行われました。



6/18 食べるバラと飛騨の森をテーマに「バラモリ2023」を開催

食べるバラを使ったスイーツや花束など、バラにちなんだ商品をはじめ、野草茶や地元農産物の販売、キッチンカーなどが楽しめるイベント「バラモリ2023」が、香愛ローズガーデンで開催されました。



市民ライターがまちの話題をお届け!! /
広報ひだまち特派員レポート
(特派員: 水樹 華・林 実香)



6/19 毎月の「ありがとう給食」
デザートを楽しみにしているよ

市内の事業者が生産している乳製品をはじめとするデザートを提供する「ありがとう給食」が、市内小中学校などで行われ、この日は神岡町の大坪製菓のまんじゅうや練りきりが提供されました。



6/24 美味しいお米作りのコツを
学びました

「美味しいお米養成講座」が古川町公民館で行われ、今年の水稲栽培の傾向や栽培のコツ、除草剤の効果的な使い方などを学びました。会場には約30人が訪れて熱心に耳を傾け、質問したりしていました。



6/24 神岡町の池田カズエさんが
100歳を迎えられました

神岡町の池田カズエさん(大正12年6月28日生まれ)が100歳を迎えられ、入所施設で親族とお祝いの会が開かれました。お孫さんを見て嬉しそうに笑顔を見せられ、施設からはお祝いのお花が贈られました。



6/24 自然の仕組みを活かした
堆肥作りを体験!

「暮らしに取り入れる自然の仕組み」第2回目として堆肥作りを学ぶ講習会が河合町の井関農園で行われ、家庭菜園をしている市民7名が、畑に合う堆肥の作り方を学びました。



6/25 「ふるさと種蔵村議会」を
開催しました

宮川町種蔵地区を盛り上げようと、市内外の若者らが種蔵公民館で意見交換会を開き、約30人が参加しました。集落の見学後、都市部の子どもたちが夏休みを楽しく過ごす企画などが提案されました。



6/28 神岡町の西田房枝さんが
100歳を迎えられました

神岡町の西田房枝さん(大正12年6月21日生まれ)が100歳の誕生日を迎えられたことを受け、藤井弘史市民福祉部長が花束と褒賞金をお渡しし、「いつまでもお元気で」と長寿をお祝いしました。